

第7回国際会議既発表・デモ・萌芽・議論セッション

山本 雄也¹ 叢 悠悠² 島村 龍太郎³ 菅野 幸夫³ 北原 鉄朗⁴ 糸山 克寿²

概要：本稿では第133回音楽情報科学研究会における既発表の国際会議・萌芽・デモ・議論セッションの発表内容について述べる。本セッションでは、査読付きジャーナルもしくは国際会議にて既発表の研究成果や、これからの発展が期待される萌芽的な研究まで、幅広くポスター発表・デモ・議論できる場である。今回のセッションでは、合計4件の発表が行われる。

1. はじめに

本稿では、2019年1月1日から2021年12月10日の間に査読付き国際会議もしくはジャーナルにて発表された音楽情報科学に関する成果のうち、国内未発表の研究を紹介する「国際会議既発表セッション」と、萌芽的な研究、デモシステム、未完成だが参加者と議論したい内容を発表できる「萌芽・デモ・議論セッション」での題目を掲載する。

2. 国際会議既発表セッション：0件

3. 萌芽・デモ・議論セッション：4件

- (1) COSIAN-1.0: 歌唱分析のための J-POP 楽曲メタデータコレクション作成の検討 山本 雄也 (筑波大学)
- (2) 型を利用した和音列の自動生成に向けて 叢 悠悠 (東京工業大学)
- (3) honeycumb fall ～2次元鍵盤を使った音ゲーム～ 島村 龍太郎, 菅野 幸夫 (岡山理科大学)
- (4) 音楽生成を題材とした機械学習の演習のための例題プログラムの試作 北原 鉄朗 (日本大学)

¹ 筑波大学

² 東京工業大学

³ 岡山理科大学

⁴ 日本大学